



“着る”生活動作支援ロボティックウェア curara®(クララ)ニューモデル発表会のご案内

超高齢化社会を迎え、歩行に障害のある方々をアシストするロボット技術の需要は年々高まっており、一部の製品が医療機器認定を受けるなど、ロボットはリハビリや介護に欠かせないアイテムになっています。

信州大学繊維学部橋本・塚原研究室は 2011 年から 2015 年まで、科学技術振興機構(JST) A-STEPの支援、地域企業とのプロジェクトにより、「着るロボット」と呼ばれる歩行アシストロボット「ロボティックウェア curara®(クララ)」を開発、2015 年からは信州大学先鋭領域融合研究群歩行アシストサイボーグプロジェクトにより、開発を行ってきました。そして 2016 年からは東京都立産業技術研究センターロボット産業活性化事業の支援も受けて進めています。

そして今年、9 月末に行われる国際福祉機器展でのニューモデル発表に先立ち、報道機関及びご興味のある企業や医療・介護機関の皆様へ、2 タイプの新機種を一挙披露することとなりました。会場では装着と歩行のデモンストレーションも行います。是非、取材にお越しく下さい。

記

期日：平成 29 年 9 月 20 日(水)14:00～15:15(受付 13:30 より)

会場：文部科学省情報ひろば 1Fラウンジ

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

アクセス：銀座線「虎ノ門駅」11 番出口 直結千代田線「霞ヶ関駅」A13 番出口 徒歩 5 分

※会場設営の都合で、お越しいただける報道機関様は事前にご連絡をお願いします。

※本件記事の解禁日時は平成 29 年 9 月 20 日(水)15:00 とさせていただきます。

信州大学と東京都立産業技術研究センターは、平成 28 年 3 月 10 日連携協定に関する協定を締結しました。産業振興に向けた技術支援や共同研究開発の推進、および産学公連携事業の活性化の取り組みを進めています。

◆本発表会についての問い合わせ先

信州大学繊維学部 橋本・塚原研究室 TEL0268-21-5523 鈴木・竹内
e-mail:biro@shinshu-u.ac.jp